



日本共産党都議会議員団ニュース

# 河野ゆりえ

都議会報告

事務所 〒132-0023 江戸川区西一之江4-16-15

☎03-3674-2243 Fax03-3655-0689

都政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

発行 日本共産党  
東京都議会議員団  
☎ 03-5320-7270  
Fax 03-5388-1790  
[党都議団控室]  
新宿区西新宿2-8-1  
2014年8月 第4号

## 「都営新宿線一之江駅等の駅施設改善について」河野ゆりえ都議が文書質問

6月の第2回定例会

日本共産党都議団の河野ゆりえ都議は、6月の都議会第2回定例会で、「都営新宿線一之江駅等の駅施設改善について」、都知事宛に文書質問趣意書を提出しました。これに対する答弁は9月の予定で

以下、その内容を紹介します。江戸川区内には、都営地下鉄・新宿線の駅が、東大島、船堀、一之江、瑞江、篠崎と5つあります。各駅の周辺は再開発や区画整理事業などが行なわれ、戸建てや集合住宅が新設されて、利用者が増加しています。

この度、交通局が、2019年度までに新宿線全駅にホームドアを設置する計画を発表したことは歓迎されています。今後さらに、「誰もが利用しやすい」交通機関になるよう、地域住民から寄せられている要望にもとづき、以下、質問

1. 一之江駅改札口周辺通路の強風対策について

ホームから改札口階通路に上がると、強い風が吹き付けます。1年を通して、季節を問わず吹いています。

とりわけ冬は冷たく強い風で、帽子やマフラーが飛ばされてしまうほどです。高齢者の方々は「強い風で歩くのが困難、倒れそうになる」と言っているほどです。一之江駅に

起きている強風について伺います。

①交通局は、強い風が吹き付ける状況を把握しているのでしょうか。

②強風が吹きつける原因について、調査したことはあるのでしょうか。

③強い風を緩和する対策について検討したことはあるのでしょうか

④「歩くのが困難」と感じる利用者がいるのですから、具体的な強風防止対策を講

じることを要望します。それぞれ、お答えください。

2. 一之江駅西側にもエレベーターの設置を

一之江駅の深さは、地上から18・7mあり、区内5つの駅のうち一番深い構造です。環状7号線東側からの昇降は、改札口階まで上り下りともエスカレーターがり、エレベーターも設置されていますから、不便はありません。

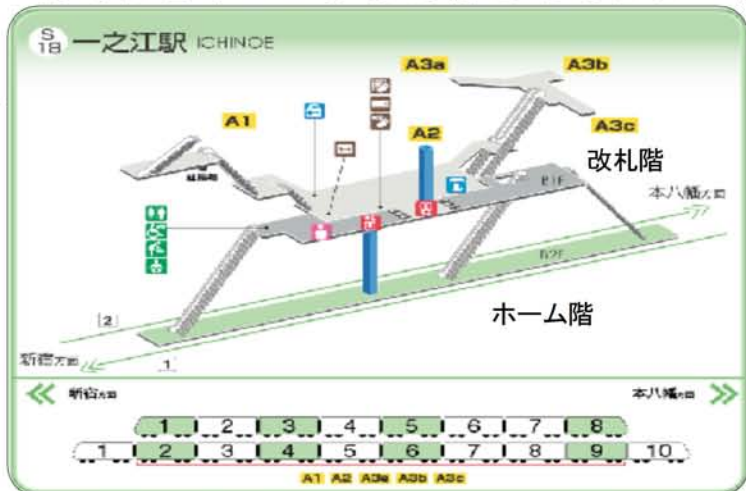
問題は、環状7号線西側からの昇降です。交通局は、今年度中に西側広場から改札階に下りのエレベーターを設置する計画とのことですが、駅利用者からは、西側にも東側と同じように下りのエスカレーターを設置してほしい、と要望があります。

脚力が弱い人にとって、下りの歩行は上りよりも困難であると言われています。西側には、区が管理運営している自転車駐輪場があ

ります。通勤、通学の人だけでなく、誰でも利用できる駐輪場です。地上から駐輪場階、駐輪場階から改札階までのエスカレーターは、いずれも上り用だけです。他の駅より深い一之江駅の構造であることを考慮し、西側のエレベーター設置と合わせて、下りのエスカレーターを設置していただくことを求めます。見解をお示しください。

(裏面へ)

東京都交通局のホームページより



### 3. 一之江駅西側の駐輪場の改善を

一之江駅西側広場下の駐輪場の出入りは階段方式です。自転車を入れる時は、下り坂になっている通路に自転車を置いてフレーキをかけながら押し下ります。自転車を出す時は、搬送コンベアのベルトの上に自転車を載せて、階段を上ります。高齢者や女性達は苦勞して西側駐輪場を利用しています。前の籠に荷物などを入れるとハンドルを取られて転びそうになる、このことです。瑞江駅には、地下駐輪場に自転車を載せて運べるエレベーターが設置されています。一之江駅西側も、誰もが安全に利用ができるよう、駐輪場の管理・運営者の江戸川区と協議して、西側駐輪場の改善を検討していただくよう要望します。お答えください。

### 4. 都営新宿線の各駅改札口近くに発車時刻を告知する電光掲示板の設置を

駅の改札口で、次の電車の

発車時刻がわかると、慌てないでホームにいくことができます。朝の通勤時などに、発車時刻がわからないためにホームへ向かって走っている人を見ることが多々あります。交通局は時刻表を配布するなど、のサービスをしていますが、常時、利用者が発車時刻を記憶しているとは限りません。

各駅の改札口周辺に、発車時刻を告知する電光掲示板を設置していただくよう要望します。いかがでしょうか。

### 5. 東大島駅の小松川口からのバスの増発を要望します

都営新宿線の東大島駅とJR平井駅は、荒川以東に居住する江戸川区民にとっては同じ生活圏にある駅です。この2つの駅を結ぶバスの本数が十分ではありません。東大島駅から平井駅間の循環都営バスは、朝の7時、8時台は一定の割合で出ていますが、他の時間帯は激減します。また、小松川再開発地域内を巡回しているワンコインバス（都バス）も、土・日は運行されていません。

東大島駅から平井駅に行くバスの本数を増発すること、合わせて、小松川地区内の巡回バスの土・日運行などを求めます。住民要望に添えていただきたいと思います。いかがでしょうか。

## 河野ゆりえ都議が平井2丁目の補助144号線について住民から出された陳情の採択を求めて質疑

6月6日都議会環境・建設委員会



日本共産党都議団の河野ゆりえ都議は6月6日の都議会環境・建設委員会で、平井2丁目の住民から出された、補助第144号線整備計画を見直し、他の方法で防火対策を求める陳情について、趣旨に賛同の立場から東京都に質問しました。その主な内容は、以下のとおりです。

○昨年十月十六日の東京都の第一回住民説明会では、担当者らは、都は事業の実行への意思決定をしている、強制収用の権限もあると述べたそうです。参加した地域住民はその言葉に大変衝撃を受け、厳しい批判の声も上がりました。

建設局は、このことについてどういう認識を持っているのか。道づくりやまちづくりの事業の大前提は、関係地域住民の納得、合意を最大に尊重することではないのか。

○陳情者は大震災のときに火災が燃え広がらないまちづくりを進めるには多様なやり方があると陳情文で示している。

二〇一一年の東京消防庁火災予防審議会答申では震災で出火した場合、まず火元の初期消火、次に消火器等による隣保初期消火、次に軽可搬消防ポンプ、これらで地域住民による延焼阻止を継続して消防団、消防署による延焼阻止、

そして、延焼遮断帯、道路の拡幅と言っている。

○江戸川区が補助一四四号線地域の住民に行った最近のアンケートでは、86%の人がこの地域に住み続けたいと答えている。高齢者が安心して住める環境づくりを求めているが、65%の回答。

地域では、車が通る道になってしまえばまちは分断されるが、避難路や憩いの場を兼ねた歩道の拡幅なら安心だという声も聞かれる。広場や生活道路の整備は、焼けどまりや避難路、消防車両の確保にも有効だと私たちは考える。

この住民要望や提案に添えて多様な地域火災防止の対策を検討して、住民とともに力を携えてさまざまな手法を選択していくべきではないのか。

平井2丁目の住民の陳情、日本共産党都議団は趣旨採択を主張

平井2丁目の住民が提出した陳情は、日本共産党、生活者ネットの賛成、他党の反対で不採択となりました。